

【NEWS RELEASE】

2021年12月17日

各 位

株式会社三井住友銀行

貿易信用状デジタル化プラットフォーム「Contour」の取扱開始について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、Contour Pte. Ltd.（CEO：Carl Wegner）が提供する貿易信用状デジタル化プラットフォーム「Contour」の取扱を邦銀として初めて、化学品メーカーの株式会社ダイセル（代表取締役社長：小河 義美）の子会社である Daicel (Asia) Pte. Ltd.（以下「ダイセルアジア」）と当行シンガポール支店との間で、実取引を開始いたしました。

本取引は、ダイセルアジアの取引先である、British American Tobacco Bangladesh Co. Ltd.との輸出取引において「Contour」上で貿易信用状の発行・通知を実行することにより、「紙媒体」でのやりとりが慣例とされていた貿易信用状取引において関係当事者間でのリアルタイムのデータの共有、貿易信用状発行までの時間短縮・貿易書類の呈示のデジタル化・ブロックチェーン技術の活用による情報セキュリティの高度化等が実現いたしました。

お客さまのビジネスのグローバル化が進むことにより、第三国からの輸出を伴う三国間貿易取引は十数年前より定着しており、貿易信用状取引における取引情報の伝達や確認作業などを行う貿易実務は従前より煩雑でありましたが、COVID-19の流行拡大によりそのプロセスタイムは更に延びる傾向にあります。しかしながら、「Contour」を導入することで貿易信用状発行から通知まで7-14日程度の時間を要していた従前のプロセスを最短では当日中に完結させることが可能となり、お客さまの業務プロセスの改善に大きく貢献することができるようになりました。

三井住友銀行は、「Contour」の実取引を足掛かりとし貿易実務のデジタル化を加速させ、効率的な貿易金融へのアクセス整備、世界中に広がる貿易金融デジタルプラットフォームとの連携、デジタルトランスフォーメーションの支援等、お客さまの業務環境が激変する中でのソリューション提供を高度化してまいります。

以 上